# 八　幡　小　だ　よ　り

北九州市立八幡小学校
校長　田頭 麗宏

## 小中一貫教育モデル校区に選定されました!!

中央中学校

八幡小学校

本校と中央中学校とが、これまでさまざまな面で「小中一貫連携教育」を推進してきていることは、学校通信などでお伝えしているとおりです。隣接しているという立地条件を生かし、子どもや教員が交流を深めることで、小⇒中の円滑な接続につながる効果的な指導を目指してきました。

そうした実績もあり、中央中学校区が、本市で新たに進める「小中一貫教育」のモデル校区の一つ（尾倉中校区も）に選定されました。「小中一貫教育」は、これまでの「小中一貫連携教育」に比べ、義務教育９年間を通じて共同のカリキュラムを編成するなど、より系統的な教育を目指すものです。

とくに、これまでの「小６＋中３＝９」にとらわれず、現在の子どもの発達段階に即しているとされる「４＋３＋２＝９」という区切りも意識しながら、新たな取組みを実践研究していきたいと考えています。

新年度から小中一貫モデル事業

八幡東の2中学校区で

市教委

北九州市教委は2020年度から、八幡東区の2中学校区を小中一貫教育モデル校区に指定し、9年間の一体的な教育活動に取り組む。モデル事業は2年間。教員の相互乗り入れなどを通じ、進級先の環境になじめない「中1ギャップ」の解消や学習意欲向上につなげる。

1月26日の市議会常任委で報告した。事業が実施されるのは、校舎が隣り合っている中央中・八幡小と、離れた場所に立地する尾倉中・尾倉小・隣接した中学校区で施設一体型と分離型による違いを比較できることから選定したいのだという。博物館など地域資源と連携した教育活動もしやすい環境面も考慮した。

教員には小中学校を兼務する人事を発令し、小中校長のうち1人を「統括校長」とする。9年間を4・3・2の3期に分け、小5から小学校の専科教員や中学校教員による一部教科担任制を取り入れる。9年間を見通した一貫性や地域の特色を生かした教育カリキュラムを作り、行事や部活動での交流も実施する。

市教委は将来的に施設一体型の小中一貫校の設置も検討する。一貫教育のメリットや成果は市全体に広げたい」としている。

【青木絵美】

←　毎日新聞（R4.2.3）

↑　中央中　入学式

↑　中央中教員による体育学習指導

↑　昼休み（中央中運動場）

↑　小中合同あいさつ運動

## 間近に迫った進学・進級に向けて

本年度の修了式まで、残り一ヶ月になりました。その後には、進学や進級が控えています。まさに今は「助走」の段階だと言えます。

今週の月曜日に、中央中学校の先生が、６年生に向けて、中学校生活に関する話をしに来てくださいました。オンライン説明会よりも具体的に、学習や生活、部活動などについて教えてもらうことができました。

また、先週のクラブ活動を３年生が見学しました。前号で紹介した４年生の委員会活動と同様に、来年度に向けた取組です。すべてのクラブを見学して、来年入ってみたいクラブを決めた子もいるようでした。

「希望の春」はもう間近です。

## おめでとう！「福原賞」受賞

### ～　環境美化のボランティア活動が表彰されました　～

北九州市教育委員会には、善行やボランティア、地域貢献などのめざましい行為を行った小・中学生や団体に「福原賞」を授与する表彰制度があります。本年度、本校環境委員会が中心となって進めている環境美化のボランティア活動が認められ、「福原賞」を受賞しました。

具体的には、空き缶回収活動やごみゼロ集会、地域清掃など、今年だけではなく今まで八幡小学校で継続して取り組んできたことが評価されたとのことです。ですから、この伝統をしっかり続けていくことが大切だと、あらためて感じました。本当におめでとうございます。